

絵本『ニーラ』誕生！

7月7日、七夕のこの日、絵本『ニーラ』出版記念パーティーが穂坂町のレストラン「キュイエツト」で開催されました。

この物語は“東京ディズニーランド生みの親”とも呼ばれている堀貞一郎先生が、葦崎を「小林一三翁生誕の地」として関心を持ち、来葦したことがきっかけとなり出来上がった“にらさき”の魅力がいっぱい詰まった感動の物語です。堀先生はこの物語の舞台となった穂坂をはじめ市内を精力的にくまなく回り、豊かな自然・歴史・文化に触られました。そして、この心温まる物語、絵本『ニーラ』を創作されました。挿絵は、大月市の絵本作家、仁科幸子さんが担当しています。

出版記念パーティーの前には葦崎小学校において絵本の贈呈式が行われ、堀先生は「葦崎が心の温まる観光地として全国から多くの人々が訪れるような、心の温泉となるよう願っています。」と挨拶されました。また、児童代表から「この物語に登場するさっちゃんのように優しい心の持ち主に、周りの人も幸せにさせられるような人間になりたいと思います。」と感想が述べられました。

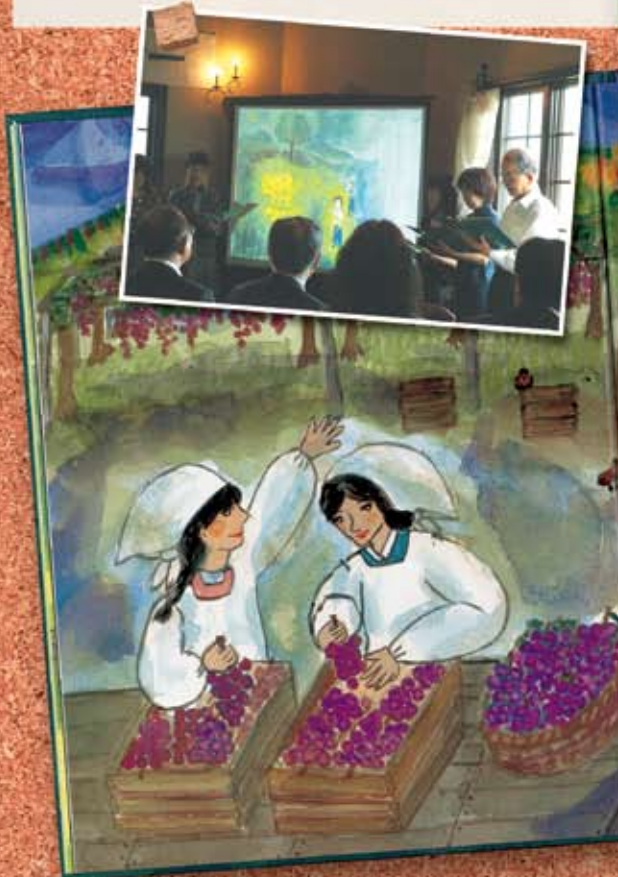
今後は、この絵本『ニーラ』に、子どもからお年寄りまで多くの市民の皆さまが触れて我がまち葦崎の魅力を再認識していただくとともに、葦崎を訪れた人に感動を与えられるまちづくりを目指して行く予定です。



葦崎市制施行55周年記念発刊

“夢と感動のテーマシティ にらさき”

東京ディズニーランドを総合プロデュースした堀貞一郎が夢と愛を込めてすべてのひとびとに贈る感動の物語「ニーラ」



絵本『ニーラ』は市内の保育園・幼稚園、小中学校の図書館、市立図書館、公民館、児童センター・放課後子供教室などへの無料配布のほか、県内の市町村立図書館、県内や近隣県の童話・絵本館にも無料配布します。

県内の書店、美術館・文学館、アンテナショップや道の駅などでの販売も計画しており、今後展開する“ものづくり”との連動により「にらさきオリジナル」を追求していきたいと考えています。

★出版元：山梨日日新聞社（定価：1600円 / 税別）

